

岡山半導体研究教育推進委員会 総会 議事録

日時： 2026 年 5 月 13 日 15:30～16:30

会場： 岡山大学旧事務局庁舎 2 階多目的室及び Zoom オンライン会議

出席者： 岡山大学:鶴田教授、高橋教授、岡山県立大学:古田教授、岡山理科大学:笠教授、
佐藤教授、中国職業能力開発大学校:藤井校長、高山教授、津山工業高等専門学校:
香取教授
事務局:岡山大学佐藤上級 URA、宮本コーディネーター

審議決定事項

- ・会則：全会一致で承認
- ・委員：岡山大学:鶴田教授、紀和教授、高橋教授。岡山県立大学:鈴木教授、古田准教授。
岡山理科大学:笠教授、佐藤教授。中国職業能力開発大学校:高山教授。
津山工業高等専門学校:香取教授
事務局:岡山大学佐藤上級 URA、宮本コーディネーター
上記で構成する
- ・初代委員長：岡山大学 鶴田教授
- ・初代副委員長：岡山理科大学 笠教授
- ・おかやま半導体関連コンソーシアム参加について、岡山半導体研究教育推進委員会にて
参加し、委員全員をメール登録する。

議事

1. 開会と挨拶 岡山大学鶴田教授

本委員会は、岡山地域における半導体人材育成半導体研究教育の戦略推進、次世代人材育成
および産学官連携の強化、教育プログラム開発・共同研究推進の研究を目的として開催され
た。今後も連携を強化し活発な活動を続けていきたいので参画校の皆様には是非ともご協
力をお願いする。

2. 中国四国 VISTA 進捗報告 岡山大学鶴田教授

事業概要

文部科学省「半導体人材育成拠点形成事業」において、中国四国 VISTA プログラムが採択
された。広島大学を拠点校とし、岡山大学、山口大学、愛媛大学が連携校として推進。
当初目標：中国四国地域で 10 年間計 3,000 人の半導体人材を育成について、補助金の縮小
により、KPI の見直しを申請している。11 年度の目標を中国四国 VISTA として 300→240 名。
対象プログラム修了者から半導体関係の就職者 240 名(岡大としては 60 名)と非常にハード
ルが高く、皆様にも間接的にご協力をお願いしたい。

岡山大学では、環境生命自然科学研究科の学生を対象に、修士 1 年中心のプログラムを 4 月
から開始。提供科目：電気電子工学、情報通信システム、機械システムなどの関連科目。

今年度の授業形態：毎週木曜日の集中講義。並行して公開講座として外部にも拡大。

単位互換について、広島大学、山口大学、愛媛大学等からの科目提供予定、VRを活用したオンデマンド実習の検討中。

今年度後期からの単位互換の課題として、相互乗り入れに関する協定の手続きを早急に進めるよう、岡山大学事務が提案中、後期から履修可能な体制整備を目指す。

VISTA プログラム受講者においては、履修度に応じてデジタルバッジの発行を計画。

3. 岡山半導体研究教育推進委員会の設立および体制決定

審議内容

- ・目的：教育プログラムの開発、地域企業との連携、共同研究の企画推進。
- ・参加機関：岡山大学、岡山県立大学、岡山理科大学、中国職業能力開発大学校、津山工業高等専門学校
- ・役員選出 初代委員長：鶴田教授（岡山大学）、副委員長：笠先生（岡山理科大学）
※任命について承認。
会則等：委員会規則（会則）を承認。
- ・コンソーシアム参加：岡山半導体関連コンソーシアムへの参加を承認。委員全員メンバーリストに入れて登録する。
- ・委員会メンバー紹介および自己紹介

その他情報共有

- ・地域連携およびイベント企画について

工場見学等の企画：今後数回の工場見学を計画。日程調整、参加者への周知、効果的な交流プログラム（企業説明、高校生向け事前説明、懇談会グループ分け等）の企画・運営を強化。

高校等からの見学・連携依頼への対応（斡旋・調整）を担う体制を構築。

- ・各大学担当者 デジタルバッジ（オープンバッジ）の導入・活用状況を自校で調査し、必要に応じて委員会にフィードバックをお願いしたい。
岡山理科大学では導入実績ありとのこと。

以上